

14 周産期センター



2013年に母体胎児集中治療室(MFICU)が併設され、重症合併症母体管理及び胎児診断による重症新生児の分娩数が増加し、当センターの特色である専門各科が連携して重症管理を行う機会が増加した。2015年4月には総合周産期母子医療センターに指定され、近隣施設からの新生児搬送数も増加し、地域における周産期医療の中核としての役割はさらに大きくなっている。ハイリスク妊娠・分娩の管理、低出生体重児や外科疾患などの重症新生児の治療など、母体・胎児・新生児に対する医療をおこなうとともに、精神的・社会的にも母児ともに安心して生活できるようサポートしている。

14-1 2024年度月別分娩件数（妊娠22週以後の分娩）

(件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比率(%)	前年度対比(%)
正常分娩	6	8	3	10	8		2	5	4	4		3	53	13.5	48.2
異常分娩	36	24	32	26	32	25	32	29	25	24	23	33	341	86.5	109.3
合計	42	32	35	36	40	25	34	34	29	28	23	36	394	100.0	93.4
死産児	1	1	1			1			1			1	6	-	-
生産児	42	32	35	38	40	25	34	34	29	28	23	36	396	-	98.8
多胎児	6	5	3	3	1	2	3	6	2	5	2	4	42	-	155.6

14-2 2024年度月別院内院外出生別出生体重区分別NICU・GCU入室人数

(人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比率(%)	前年度対比(%)
院内出生	成熟新生児	25	20	23	20	29	19	19	20	17	13	25	249	53.4	87.4
	低出生体重児 2,500g未満	16	10	10	12	7	7	13	19	7	15	8	134	28.8	157.6
	極低出生体重児 1,500g未満	3			4		2	3	2		4	1	20	4.3	166.7
	超低出生体重児 1,000g未満	2			2		1	1			2	1	10	2.1	66.7
小計	41	30	33	32	36	26	32	38	27	32	21	35	383	82.2	96.5
院外出生	成熟新生児	8	8	13	7	9	9	4	2	3	3	6	73	15.7	84.9
	低出生体重児 2,500g未満	1	1	2			1				1	2	9	1.9	60.0
	極低出生体重児 1,500g未満		1										1	0.2	-
	超低出生体重児 1,000g未満													-	-
小計	9	10	15	7	9	10	4	2	3	4	8	2	83	17.8	82.2
合計	50	40	48	39	45	36	36	40	30	36	29	37	466	100.0	93.6

14-3 分娩件数の年度別推移

